

十米ノ幅ニ拡大セラル

從ツテ最初ノ道路ニ添テテ架設セラレシ電線路ノ後ニハ大道ノ中央ニ位スルニ至
ル 而モ夜間無燈火ノ前進ヲ強行セザルベカラザルヲ以テ電柱ノ間隔ニ半燈五ノ六
米ノ間型境ヲ越リ通行自動貨車等ニ對シ線路ヲ保護スルコト必要ナリ

第七款、平時ニ於ケル通信施設

一 國境附近ノ想戰場ニ於ケル通信施設ヲ速クニ完備スルコト必要ナリ

理由

乾谷子事件ノ際ハ蘇軍ハ事件直後周章狼狽シテ其通信混乱状態ヲ呈シ中ニハ暗号
ヲ廢シ生入ヲモ要求スルガ如キ無線通信ノ弱點ヲ暴露セルモ今次事件ニ於テハ敵
ノ監視顯ル機カニシテ友軍ノ反シテ彼ニ劣ル莫クシトセズ

思フニ彼ノ國境ニ於ケル通信施設中無線設備ノ整備セラレタル結果極力無線通
信ヲ制限セシ結果ナルバシ

速ニ予想戰場ニ於ケル通信施設ヲ完備スルコト必要ナリ

一 鐵道電氣以外ノ地方電線ノ建設ノ際必ズ正規ノ交叉ヲ實施シムル如ク指導スル

ヲ要ス又準線等モ軍事上ノ着眼ヨリ軍部ニテ指導スルヲ要ス

理由

多クノ在来線ハ又ウ實施セズ又支線等モ最小限ニシテ薄弱ナルノミナラス誘導
ハタメ通信不確實ナルノミナラス防護上ヨリスルモ甚バニ堪エザル状態ナリ宜シ
ク補修セシムルヲ要ス

特ニ予想戰場附近ノ通信網ニ於テ然リトス

第八款 暗號ニ關スル事項

一 非常ノ場合殊ニ暗號者ヲ全ク焼却シテ之ヲ有セザル場合ニ於ケル通信ニ關シ規定
シ置クコト必要ナリ

理由

八月二十七日頃ニ於ケル〇〇部隊司令部ト〇〇司令部トノ通信ニ於テ〇〇部隊司
令部側一切ノ暗號書ヲ焼却シ遂ニ軍司令部ノ責ニ依リ生々通信ヲ行ハザルベカラ
ザル状況ヲ現出セリ

一 暗號書ノ使用致更時期ハ重要作戰同等ニ於テ行フハ一考ヲ要ス